

App Bridge
通知メッセージガイド

Ver. 1.19.0

目次

1. 本書の役割	1
2. 通知メッセージカスタマイズ	2
2.1 通知メッセージごとのカスタマイズ	2
2.1.1 概要	2
2.1.2 代替文字列	2
2.2 オーナレベルのカスタマイズ	3
2.2.1 概要	3
2.2.2 代替え文字	3
2.3 Web サイトでの通知メッセージカスタマイズ	4
2.4 コマンドでの通知メッセージカスタマイズ	5
2.5 通知メッセージの最大サイズ	5
3. Agent 監視の通知メッセージ	6
3.1 通知メッセージ一覧	6
3.2 イベントログ監視	7
3.2.1 メッセージフォーマット	7
3.2.2 代替え文字	7
3.3 サービス監視	8
3.3.1 メッセージフォーマット	8
3.3.2 代替え文字	9
3.4 プロセス監視	10
3.4.1 メッセージフォーマット	10
3.4.2 代替え文字	10
3.5 ディスク容量監視	11
3.5.1 メッセージフォーマット	11
3.5.2 代替え文字	11
3.6 ディスクビジー監視	12
3.6.1 メッセージフォーマット	12
3.6.2 代替え文字	12
3.7 CPU ビジー監視	13
3.7.1 メッセージフォーマット	13
3.7.2 代替え文字	13
3.8 物理メモリ容量監視	14
3.8.1 メッセージフォーマット	14
3.8.2 代替え文字	14
3.9 仮想メモリ容量監視	15
3.9.1 メッセージフォーマット	15
3.9.2 代替え文字	15
3.10 テキストログ監視	16
3.10.1 メッセージフォーマット	16
3.10.2 代替え文字	16
3.11 データベース容量監視	17
3.11.1 メッセージフォーマット	17

3.11.2 代替え文字.....	17
3.12 データベース応答監視.....	18
3.12.1 メッセージフォーマット.....	18
3.12.2 代替え文字.....	18
4. 応答監視の通知メッセージ.....	19
4.1 通知メッセージ一覧.....	19
4.2 Ping 監視.....	20
4.2.1 メッセージフォーマット.....	20
4.2.2 代替え文字.....	21
4.3 HTTP 監視.....	22
4.3.1 メッセージフォーマット.....	22
4.3.2 代替え文字.....	23
4.4 TCP ポート監視.....	24
4.4.1 メッセージフォーマット.....	24
4.4.2 代替え文字.....	25
5. API 監視の通知メッセージ.....	26
5.1 通知メッセージ一覧.....	26
5.2 Amazon EC2 API 監視.....	27
5.2.1 メッセージフォーマット.....	27
5.2.2 代替え文字.....	28
6. カスタム監視の通知メッセージ.....	29
6.1 通知メッセージ一覧.....	29
6.2 カスタム監視.....	30
6.2.1 メッセージフォーマット.....	30
6.2.2 代替え文字.....	31
7. ユーザメッセージ監視の通知メッセージ.....	32
7.1 通知メッセージ一覧.....	32
7.2 エラーメッセージ.....	33
7.2.1 メッセージフォーマット.....	33
7.2.2 代替え文字.....	33
7.3 警告メッセージ.....	34
7.3.1 メッセージフォーマット.....	34
7.3.2 代替え文字.....	34
7.4 情報メッセージ.....	35
7.4.1 メッセージフォーマット.....	35
7.4.2 代替え文字.....	35
7.5 拡張エラーメッセージ.....	36
7.6 拡張警告メッセージ.....	36
7.7 拡張情報メッセージ.....	36
8. センタ発信の通知メッセージ.....	37
8.1 センタメッセージ.....	37
8.1.1 通知メッセージ一覧.....	37

8.1.2 メッセージフォーマット	37
8.1.3 代替え文字	44
8.2 センタメッセージ（下位互換）	45
8.2.1 下位互換されるセンタメッセージ	45
8.2.2 メッセージフォーマット	45

1. 本書の役割

本書は、App Bridge が発行する通知メッセージを記載したものです。App Bridge の各マニュアルと合わせてご利用下さい。

2. 通知メッセージカスタマイズ

2.1 通知メッセージごとのカスタマイズ

2.1.1 概要

App Bridge では、通知コードごとに、通知メッセージの件名、本文をカスタマイズすることができます。

例えば、通知コード 0020-010-A を指定して通知メッセージをカスタマイズした場合、イベントログ監視の通知メッセージのみをカスタマイズします。

2.1.2 代替文字列

通知コードごとのカスタマイズでは、共通の代替文字列として、以下が使用できます。各メッセージ固有の代替え文字列は、次章以降でメッセージごとに記載します。

代替文字列	内容	備考
%GenerateTime%	事象発生日時	YYYY/MM/DD hh:mm:ss
%OwnerCD%	対象のオーナー CD	
%HostName%	事象が発生（事象を検知）したホスト名	
%NodeCD%	センタメッセージ（※1）：「ノード CD」 非スケーリングノード ：「ノード CD」 スケーリングノード ：「ノード CD:インスタンス名（※2）」	
%MessageCD%	対象の通知コード	
%Status%	現在のステータス	Good、Warning、Error

※1：センタで生成されたメッセージ。詳細は後述の「センタ発信の通知メッセージ」参照

※2：インスタンス名は以下のとおり

- Amazon EC2：Amazon インスタンス ID
- Microsoft Azure Cloud Services：Microsoft Azure インスタンス名：Microsoft Azure デプロイメント ID
- Microsoft Azure Virtual Machines (Windows)：コンピュータ名[App Bridge Agent Start Time]
- Microsoft Azure Virtual Machines (Linux)：ホスト名
- 上記以外 (Windows)：コンピュータ名[App Bridge Agent Start Time]
- 上記以外 (Linux)：ホスト名

2.2 オーナレベルのカスタマイズ

2.2.1 概要

通知コード 0000-000-X は通知メッセージのテンプレートを指す特殊な通知コードです。この通知コードをカスタマイズすることで、全通知メッセージを一括してカスタマイズすることができます。

2.2.2 代替え文字

テンプレートには、以下の代替え文字列が使用できます。

代替文字列	内容	備考
%Subject%	件名	件名のみで使用可能
%Body%	本文	本文のみで使用可能

例えば、通知コード 0000-000-X の件名を “カスタマイズ%Subject%” に変更した場合、全通知メッセージの件名の先頭に “カスタマイズ” が付与されます。

2.3 Web サイトでの通知メッセージカスタマイズ

通知メッセージをカスタマイズするためには、App Bridge サイトにログインいただき、＜メインメニュー/通知メッセージのカスタマイズ/通知メッセージカスタマイズ一覧＞の[追加]ボタンをクリックします。

表示された画面で、カスタマイズ対象の通知コードを選択します。選択すると、標準のメッセージが表示されるため、任意の形にカスタマイズし、[OK]ボタンをクリックします。

Menu > 通知メッセージカスタマイズ一覧 > 通知メッセージカスタマイズ設定

OK Cancel

MessageCD	0010-010-A[Ping監視障害]
有効にする	☒
件名 通知コード	【Ping監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
本文	以下のノードから応答がありません 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% DisplayName：%ForDisplayEndpoint% EndPoint：%ForUseEndpoint% %PingMessage%

2.4 コマンドでの通知メッセージカスタマイズ

通知メッセージのカスタマイズを支援するため、以下のコマンドを用意しています。

コマンド名	内容
GetMessageCustomizes	App Bridge センタより、現在の登録内容を CSV ファイルとしてダウンロードします
SetMessageCustomizes	CSV ファイルを App Bridge センタにアップロードします。CSV ファイルに含まれていない通知コードのカスタマイズは削除される点に注意して下さい。

GetMessageCustomizes コマンド、SetMessageCustomizes コマンドは、REST API を使用しており、インターネットへの HTTPS 接続が可能な任意の Windows 上で動作します。

GetMessageCustomizes コマンド、SetMessageCustomizes コマンドのインストール方法、使用方法、並びに CSV ファイルのフォーマットについては、以下のマニュアルをご参照下さい。

- App Bridge 連携ツールガイド

2.5 通知メッセージの最大サイズ

生成される通知メッセージの最大サイズは以下のとおりであり、超過した部分は切り捨てられます。通知メッセージをカスタマイズする際には、この範囲に収まるようご配慮下さい。

通知メッセージ	最大サイズ	備考
件名	UTF8 換算で 200 バイト	
本文	UTF8 換算で 4,000 バイト	

3. Agent 監視の通知メッセージ

3.1 通知メッセージ一覧

通知コード	メッセージの種類	通知タイミング
0020-010-A	Windows イベントログ監視	イベントログ発生
0020-020-A		同一イベントログ発生
0030-010-A	サービス監視	障害発生
0030-010-B		障害回復
0030-010-C		警告発生
0030-010-D		警告回復
0040-010-A	プロセス監視	障害発生
0040-010-B		障害回復
0050-010-A	ディスク容量監視	障害発生
0050-010-B		障害回復
0060-010-A	ディスクビジー監視	障害発生
0060-010-B		障害回復
0060-010-C		警告発生
0060-010-D		警告回復
0070-010-A	CPU ビジー監視	障害発生
0070-010-B		障害回復
0070-010-C		警告発生
0070-010-D		警告回復
0080-010-A	物理メモリ容量監視	障害発生
0080-010-B		障害回復
0080-010-C		警告発生
0080-010-D		警告回復
0090-010-A	仮想メモリ容量監視	障害発生
0090-010-B		障害回復
0090-010-C		警告発生
0090-010-D		警告回復
0100-010-A	テキストログ監視	該当のテキストログ発見
0120-010-A	データベース容量監視	障害発生
0120-010-B		障害回復
0130-010-A	データベース応答監視	障害発生
0130-010-B		障害回復

3.2 イベントログ監視

3.2.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値	
0020-010-A	件名	【イベントログ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%	
	本文	以下のイベントログが発生しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% イベントソース : %EventSource% イベントタイプ : %EventType% イベント ID : %EventMessageID% イベントメッセージ : %EventMessage%	
	種別	イベントログタイプに従う	
		イベントログタイプ	設定される種別
		Critical	Error
Error		Error	
FailureAudit		Error	
Warning		Warning	
Information		Information	
LogAlways		Information	
SuccessAudit		Information	
Verbose	Information		
発生理由	イベントログ発生		
0020-020-A ※1	件名	【イベントログ通知抑止】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%	
	本文	規定秒数（5 秒）以内に、複数件の同一イベントが通知対象となったため、2 件目以降を抑止します ノード名 : %NodeCD% イベントログ名 : %EventLogName% イベントソース : %EventSource% イベント ID : %EventMessageID% 同じノードの同じイベントログで発生した同一イベントソース、同一イベント ID のイベントを同一イベントと見なします	
	種別	Error	
	発生理由	同一イベントログ発生	

※1：本メッセージは、Ver. 1.18.0 以上の Windows Agent が出力します。Ver. 1.18.0 未満の Windows Agent では、同一イベントを抑止しますが、本メッセージは出力しません

3.2.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%EventLogName%	イベントログ名	
%EventSource%	イベントログソース	
%EventType%	イベントログタイプ	
%EventMessageID%	イベントログメッセージ ID	
%EventMessage%	イベントログメッセージ	

3.3 サービス監視

3.3.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0030-010-A	件名	【サービス障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %ServiceName%
	本文	以下のサービス障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% サービス名 : %ServiceName% サービス表示名 : %ServiceDisplayName% サービスステータス : %ServiceStatus%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0030-010-B	件名	【サービス回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %ServiceName%
	本文	以下のサービス回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% サービス名 : %ServiceName% サービス表示名 : %ServiceDisplayName% サービスステータス : %ServiceStatus% 回復後のステータス : %Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0030-010-C	件名	【サービス警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %ServiceName%
	本文	以下のサービス警告を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% サービス名 : %ServiceName% サービス表示名 : %ServiceDisplayName% サービスステータス : %ServiceStatus%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0030-010-D	件名	【サービス警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %ServiceName%
	本文	以下のサービス警告回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% サービス名 : %ServiceName% サービス表示名 : %ServiceDisplayName% サービスステータス : %ServiceStatus%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

3.3.2 代替文字

代替文字列	内容	備考
%ServiceName%	サービス名	
%ServiceDisplayName%	サービス表示名	
%ServiceStatus%	サービスステータス	

3.4 プロセス監視

3.4.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0040-010-A	件名	【プロセス障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DisplayProcessName%
	本文	以下のプロセス障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% 表示用プロセス名 : %DisplayProcessName% プロセス名 : %ProcessName% プロセス数 : %ProcessCount%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0040-010-B	件名	【プロセス回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DisplayProcessName%
	本文	以下のプロセス回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% 表示用プロセス名 : %DisplayProcessName% プロセス名 : %ProcessName% プロセス数 : %ProcessCount%
	種別	Information
	発生理由	障害回復

3.4.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%DisplayProcessName%	表示用プロセス名	
%ProcessName%	プロセス名	
%ProcessCount%	プロセス数	

3.5 ディスク容量監視

3.5.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0050-010-A	件名	【ディスク容量障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク容量障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% トータルディスクサイズ : %TotalDiskSizeEdit% (%TotalDiskSize%) 空きディスクサイズ : %FreeDiskSizeEdit% (%FreeDiskSize%)
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0050-010-B	件名	【ディスク容量回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク容量回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% トータルディスクサイズ : %TotalDiskSizeEdit% (%TotalDiskSize%) 空きディスクサイズ : %FreeDiskSizeEdit% (%FreeDiskSize%)
	種別	Information
	発生理由	障害回復

3.5.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%DriveName%	ドライブ名	
%TotalDiskSize%	総ディスクサイズ	#, ##0
%TotalDiskSizeEdit%	編集済み総ディスクサイズ	#, ##0.0 GB/MB/KB/等
%FreeDiskSize%	空きディスクサイズ	#, ##0
%FreeDiskSizeEdit%	編集済み空きディスクサイズ	#, ##0.0 GB/MB/KB/等

3.6 ディスクビジー監視

3.6.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0060-010-A	件名	【ディスク稼働率障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク稼働率障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% 稼働率 : %DiskBusyPercent%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0060-010-B	件名	【ディスク稼働率回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク稼働率回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% 稼働率 : %DiskBusyPercent% 回復後のステータス : %Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0060-010-C	件名	【ディスク稼働率警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク稼働率警告を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% 稼働率 : %DiskBusyPercent%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0060-010-D	件名	【ディスク稼働率警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DriveName%
	本文	以下のディスク稼働率警告回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% ドライブ名 : %DriveName% 稼働率 : %DiskBusyPercent%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

3.6.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%DriveName%	ドライブ名	
%DiskBusyPercent%	ディスクビジー率	#, ##0.0

3.7 CPU ビジー監視

3.7.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0070-010-A	件名	【CPU 稼働率障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CPUName%
	本文	以下の CPU 稼働率障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% プロセッサ名 : %CPUName% 稼働率 : %CPUBusyPercent%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0070-010-B	件名	【CPU 稼働率回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CPUName%
	本文	以下の CPU 稼働率回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% プロセッサ名 : %CPUName% 稼働率 : %CPUBusyPercent% 回復後のステータス : %Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0070-010-C	件名	【CPU 稼働率警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CPUName%
	本文	以下の CPU 稼働率警告を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% プロセッサ名 : %CPUName% 稼働率 : %CPUBusyPercent%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0070-010-D	件名	【CPU 稼働率警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CPUName%
	本文	以下の CPU 稼働率警告回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% プロセッサ名 : %CPUName% 稼働率 : %CPUBusyPercent%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

3.7.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%CPUName%	プロセッサ名	
%CPUBusyPercent%	CPU ビジー率	#, ##0.0
%Status%	ステータス	

3.8 物理メモリ容量監視

3.8.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0080-010-A	件名	【物理メモリ容量障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の物理メモリ容量障害を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0080-010-B	件名	【物理メモリ容量回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の物理メモリ容量回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%) 回復後のステータス：%Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0080-010-C	件名	【物理メモリ容量警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の物理メモリ容量警告を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0080-010-D	件名	【物理メモリ容量警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の物理メモリ容量警告回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Information
	発生理由	警告回復

3.8.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%TotalMemorySize%	メモリ総容量	#, ##0
%TotalMemorySizeEdit%	編集済みメモリ総容量	#, ##0.0 GB/MB/KB/等
%FreeMemorySize%	メモリ空き容量	#, ##0
%FreeMemorySizeEdit%	編集済みメモリ空き容量	#, ##0.0 GB/MB/KB/等

3.9 仮想メモリ容量監視

3.9.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0090-010-A	件名	【仮想メモリ容量障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の仮想メモリ容量障害を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0090-010-B	件名	【仮想メモリ容量回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の仮想メモリ容量回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%) 回復後のステータス：%Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0090-010-C	件名	【仮想メモリ容量警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の仮想メモリ容量警告を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0090-010-D	件名	【仮想メモリ容量警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の仮想メモリ容量警告回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% トータルメモリサイズ：%TotalMemorySizeEdit% (%TotalMemorySize%) 空きメモリサイズ：%FreeMemorySizeEdit% (%FreeMemorySize%)
	種別	Information
	発生理由	警告回復

3.9.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%TotalMemorySize%	メモリ総容量	#, ##0
%TotalMemorySizeEdit%	編集済みメモリ総容量	#, ##0.0 GB/MB/KB/等
%FreeMemorySize%	メモリ空き容量	#, ##0
%FreeMemorySizeEdit%	編集済みメモリ空き容量	#, ##0.0 GB/MB/KB/等

3.10 テキストログ監視

3.10.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0100-010-A	件名	【テキストログ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %TextFileName%
	本文	以下のテキストログが発生しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% フォルダパス : %TextFileFolderPath% ファイル名 : %TextFileName% ファイルの説明 : %TextFileDescription% ログ内容 : %TextMessage%
	種別	Error
	発生理由	障害発生

3.10.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%TextFileFolderPath%	テキストファイルフォルダパス	
%TextFileName%	テキストファイル名	
%TextFileDescription%	テキストファイルの説明	
%TextMessage%	テキストログ内容	

3.11 データベース容量監視

3.11.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0120-010-A	件名	【DB 容量障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DBName%
	本文	以下の DB 容量障害を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DB 名 : %DBName% 最大 DB サイズ : %MaximumDBSizeEdit% (%MaximumDBSize%) 割当済み DB サイズ : %AllocateDBSizeEdit% (%AllocateDBSize%) 使用済み DB サイズ : %UsedDBSizeEdit% (%UsedDBSize%)
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0120-010-B	件名	【DB 容量回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DBName%
	本文	以下の DB 容量回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DB 名 : %DBName% 最大 DB サイズ : %MaximumDBSizeEdit% (%MaximumDBSize%) 割当済み DB サイズ : %AllocateDBSizeEdit% (%AllocateDBSize%) 使用済み DB サイズ : %UsedDBSizeEdit% (%UsedDBSize%)
	種別	Information
	発生理由	障害回復

3.11.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%DBName%	データベース名	
%MaximumDBSize%	最大データベースサイズ	#, ##0
%MaximumDBSizeEdit%	編集済み最大データベースサイズ	#, ##0.0 GB/MB/KB/等
%AllocateDBSize%	割当済みデータベースサイズ	#, ##0
%AllocateDBSizeEdit%	編集済み割当済みデータベースサイズ	#, ##0.0 GB/MB/KB/等
%UsedDBSize%	使用済みデータベースサイズ	#, ##0
%UsedDBSizeEdit%	編集済み使用済みデータベースサイズ	#, ##0.0 GB/MB/KB/等

3.12 データベース応答監視

3.12.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0130-010-A	件名	【DB 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DBName% %QueryCD%
	本文	以下の DB から応答がありません 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DB 名 : %DBName% クエリ CD : %QueryCD% %DBQueryMessage%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0130-010-B	件名	【DB 監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %DBName% %QueryCD%
	本文	以下の DB から応答がありました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DB 名 : %DBName% クエリ CD : %QueryCD%
	種別	Information
	発生理由	障害回復

3.12.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%DBName%	データベース名	
%QueryCD%	クエリーコード	

4. 応答監視の通知メッセージ

4.1 通知メッセージ一覧

通知コード	メッセージの種類	通知タイミング
0010-010-A	Ping 監視	障害発生
0010-011-A		障害発生
0010-010-B		障害回復
0010-010-C		警告発生
0010-010-D		警告回復
0010-020-A	HTTP 監視	障害発生
0010-021-A		障害発生
0010-020-B		障害回復
0010-020-C		警告発生
0010-020-D		警告回復
0010-030-A	TCP ポート監視	障害発生
0010-031-A		障害発生
0010-030-B		障害回復
0010-030-C		警告発生
0010-030-D		警告回復

4.2 Ping 監視

4.2.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0010-010-A	件名	【Ping 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のノードから応答がありません 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% %PingMessage%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-011-A	件名	【Ping 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のノードで最小応答時間が閾値を越えました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-010-B	件名	【Ping 監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のノードから応答がありました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime% 回復後のステータス : %Status%
	種類	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0010-010-C	件名	【Ping 監視警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のノードで一部のエラーを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint%

		成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0010-010-D	件名	【Ping 監視警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のノードが警告状態から回復しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

4.2.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%ForDisplayEndpoint%	PING 監視対象の表示名	
%ForUseEndpoint%	PING 監視対象のエンドポイント	
%PingMessage%	PING 応答メッセージ	
%SuccessCount%	成功回数	
%FailCount%	失敗回数	
%MinimumResponseTime%	最小応答時間 (ミリ秒)	
%AverageResponseTime%	平均応答時間 (ミリ秒)	
%MaximumResponseTime%	最大応答時間 (ミリ秒)	

4.3 HTTP 監視

4.3.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0010-020-A	件名	【HTTP 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下の URL から応答がありません 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% %HTTPMessage%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-021-A	件名	【HTTP 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下の URL で最小応答時間が閾値を越えました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-020-B	件名	【HTTP 監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下の URL から応答がありました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime% 回復後のステータス : %Status%
	種類	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0010-020-C	件名	【HTTP 監視警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下の URL で一部のエラーを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint%

		成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Warning
	発生理由	警告発生
0010-020-D	件名	【HTTP 監視警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下の URL が警告状態から回復しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% EndPoint : %ForUseEndpoint% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Information
	発生理由	警告回復

4.3.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%ForDisplayEndpoint%	HTTP 監視対象の表示名	
%ForUseEndpoint%	HTTP 監視対象のエンドポイント	
%HTTPMessage%	HTTP 応答メッセージ	
%SuccessCount%	成功回数	
%FailCount%	失敗回数	
%MinimumResponseTime%	最小応答時間 (ミリ秒)	
%AverageResponseTime%	平均応答時間 (ミリ秒)	
%MaximumResponseTime%	最大応答時間 (ミリ秒)	

4.4 TCP ポート監視

4.4.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0010-030-A	件名	【TCP ポート監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のポートから応答がありません 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% FQDN : %FQDN% PortType : %PortType% PortNumber : %PortNumber% %ConnectMessage%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-031-A	件名	【TCP ポート監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のポートで最小応答時間が閾値を越えました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% FQDN : %FQDN% PortType : %PortType% PortNumber : %PortNumber% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Error
	発生理由	障害発生
0010-030-B	件名	【TCP ポート監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のポートから応答がありました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% FQDN : %FQDN% PortType : %PortType% PortNumber : %PortNumber% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime% 回復後のステータス : %Status%
	種類	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0010-030-C	件名	【TCP ポート監視警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%

	本文	以下のポートで一部のエラーを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% FQDN : %FQDN% PortType : %PortType% PortNumber : %PortNumber% 成功回数 : %SuccessCount% 失敗回数 : %FailCount% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Warning
	発生理由	警告発生
0010-030-D	件名	【TCP ポート監視警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %ForDisplayEndpoint%
	本文	以下のポートが警告状態から回復しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% DisplayName : %ForDisplayEndpoint% FQDN : %FQDN% PortType : %PortType% PortNumber : %PortNumber% 最小応答時間 (ミリ秒) : %MinimumResponseTime% 平均応答時間 (ミリ秒) : %AverageResponseTime% 最大応答時間 (ミリ秒) : %MaximumResponseTime%
	種類	Information
	発生理由	警告回復

4.4.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%ForDisplayEndpoint%	TCP ポート監視対象の表示名	
%FQDN%	TCP ポート監視対象の FQDN	
%PortType%	TCP ポート監視対象のポート種別	
%PortNumber%	TCP ポート監視対象のポート番号	
%ConnectMessage%	TCP ポート応答メッセージ	
%SuccessCount%	成功回数	
%FailCount%	失敗回数	
%MinimumResponseTime%	最小応答時間 (ミリ秒)	
%AverageResponseTime%	平均応答時間 (ミリ秒)	
%MaximumResponseTime%	最大応答時間 (ミリ秒)	

5. API 監視の通知メッセージ

5.1 通知メッセージ一覧

通知コード	メッセージの種類	通知タイミング
0010-920-A	Amazon EC2 API 監視	障害発生
0010-920-B		障害回復
0010-920-C		警告発生
0010-920-D		警告回復

5.2 Amazon EC2 API 監視

5.2.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0010-920-A	件名	【VM 監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のノードで VM 監視障害の発生を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% RegionName:%RegionDisplayName% / %RegionSystemName% InstanceID:%InstanceID% Status:%ServerStatus%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0010-920-B	件名	【VM 監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のノードで VM 監視障害の回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% RegionName:%RegionDisplayName% / %RegionSystemName% InstanceID:%InstanceID% Status:%ServerStatus% 回復後のステータス : %Status%
	種別	回復後のステータスに従う
	発生理由	障害回復
0010-920-C	件名	【VM 監視警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のノードで VM 監視警告の発生を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% RegionName:%RegionDisplayName% / %RegionSystemName% InstanceID:%InstanceID% Status:%ServerStatus%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0010-920-D	件名	【VM 監視警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のノードで VM 監視障害の警告回復を検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% RegionName:%RegionDisplayName% / %RegionSystemName% InstanceID:%InstanceID% Status:%ServerStatus%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

5.2.2 代替文字

代替文字列	内容	備考
%RegionDisplayName%	リージョン表示名	
%RegionSystemName%	リージョンシステム名	
%InstanceID%	インスタンス ID	
%ServerStatus%	現在のサーバステータス	

6. カスタム監視の通知メッセージ

6.1 通知メッセージ一覧

通知コード	メッセージの種類	通知タイミング
0200-010-A	カスタム監視	障害発生
0200-010-B		障害回復
0200-010-C		警告発生
0200-010-D		警告回復

6.2 カスタム監視

6.2.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0200-010-A	件名	【カスタム監視障害】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CustomOrderName%
	本文	カスタム監視で以下の障害発生を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% 種類：%CustomOrderName% キー：%CustomKeyString% 値：%CustomValueString% ステータス：%CustomStatus%
	種別	Error
	発生理由	障害発生
0200-010-B	件名	【カスタム監視回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CustomOrderName%
	本文	カスタム監視で以下の障害回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% 種類：%CustomOrderName% キー：%CustomKeyString% 値：%CustomValueString% ステータス：%CustomStatus%
	種別	ステータスに従う
	発生理由	障害回復
0200-010-C	件名	【カスタム監視警告】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CustomOrderName%
	本文	カスタム監視で以下の警告発生を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% 種類：%CustomOrderName% キー：%CustomKeyString% 値：%CustomValueString% ステータス：%CustomStatus%
	種別	Warning
	発生理由	警告発生
0200-010-D	件名	【カスタム監視警告回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD% %CustomOrderName%
	本文	カスタム監視で以下の警告回復を検知しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% 種類：%CustomOrderName% キー：%CustomKeyString% 値：%CustomValueString% ステータス：%CustomStatus%
	種別	Information
	発生理由	警告回復

6.2.2 代替文字

代替文字列	内容	備考
%CustomOrderName%	種別列の表示内容	
%CustomKeyString%	キー列の表示内容	
%CustomValueString%	値列の表示内容	
%CustomStatus%	ステータス (Information、Warning、Error の何れか)	

7. ユーザメッセージ監視の通知メッセージ

利用者のコマンド起動、API コールによって発生するメッセージです。
コマンドは、「ユーザメッセージ監視サービスガイド」を参照下さい。

7.1 通知メッセージ一覧

通知コード	種別	レベル
0110-010-A (※1)	Error	ノード
0110-020-A (※1)	Error	オーナ
0110-030-C (※1)	Warning	ノード
0110-040-C (※1)	Warning	オーナ
0110-050-D (※1)	Information	ノード
0110-060-D (※1)	Information	オーナ
ZZXX-XXX-X (※2) (※3)	Error/Warning/Information (※4)	オーナ/ノード (※5)

※1：コマンドでメッセージコードを指定しなかった場合の仮定値です

※2：拡張エラーメッセージ、拡張警告メッセージ、拡張情報メッセージでは、定められた範囲で通知コードを指定でき、件名、本文も任意の内容が指定できます

※3：ZZ：91～95の数字、X：英大文字、数字が指定可能です

※4：種別は、コマンド、API で指定します

※5：レベルは、コマンド、API で指定します

7.2 エラーメッセージ

7.2.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0110-010-A	件名	【エラーメッセージ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のエラーメッセージが発生しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% メッセージ : %ErrorMessage%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	メッセージ受信
0110-020-A	件名	【エラーメッセージ発生】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	以下のエラーメッセージが発生しました 発生日時 : %GenerateTime% メッセージ : %ErrorMessage%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	メッセージ受信

7.2.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%ErrorMessage%	エラーメッセージ	

7.3 警告メッセージ

7.3.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0110-030-C	件名	【警告メッセージ検知】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の警告メッセージを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% メッセージ : %WarningMessage%
	種別	Warning
	レベル	ノード
	発生理由	メッセージ受信
0110-040-C	件名	【警告メッセージ検知】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	以下の警告メッセージを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% メッセージ : %WarningMessage%
	レベル	オーナー
	種別	Warning
	発生理由	メッセージ受信

7.3.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%WarningMessage%	警告メッセージ	

7.4 情報メッセージ

7.4.1 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0110-050-D	件名	【情報メッセージ検知】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の情報メッセージを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% メッセージ : %InformationMessage%
	種別	Information
	レベル	ノード
	発生理由	メッセージ受信
0110-060-D	件名	【情報メッセージ検知】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	以下の情報メッセージを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% メッセージ : %InformationMessage%
	レベル	オーナー
	種別	Information
	発生理由	メッセージ受信

7.4.2 代替え文字

代替文字列	内容	備考
%InformationMessage%	情報メッセージ	

7.5 拡張エラーメッセージ

通知コード	区分	値
ZZXX-XXX-X	件名	SendErrorEx コマンドで指定された件名
	本文	SendErrorEx コマンドで指定された本文
	種別	Error
	レベル	SendErrorEx コマンドの指定に従う
	発生理由	メッセージ受信

7.6 拡張警告メッセージ

通知コード	区分	値
ZZXX-XXX-X	件名	SendWarningEx コマンドで指定された件名
	本文	SendWarningEx コマンドで指定された本文
	種別	Warning
	レベル	SendWarningEx コマンドの指定に従う
	発生理由	メッセージ受信

7.7 拡張情報メッセージ

通知コード	区分	値
ZZXX-XXX-X	件名	SendInfoEx コマンドで指定された件名
	本文	SendInfoEx コマンドで指定された本文
	種別	Information
	レベル	SendInfoEx コマンドの指定に従う
	発生理由	メッセージ受信

8. センタ発信の通知メッセージ

8.1 センタメッセージ

App Bridge センタから発信される通知メッセージは以下のとおりです。

8.1.1 通知メッセージ一覧

通知コード	種別	レベル	内容
9901-100-C	Warning	オーナー	電話発信インシデント未通話
9901-200-A	Error	ノード	通知メッセージ書き込み抑止
9901-210-A	Error	オーナー	通知メッセージ書き込み抑止
9901-300-A	Error	ノード	ハートビートエラー発生
9901-300-B	Information	ノード	ハートビートエラー回復
9901-400-A	Error	オーナー	ファイル転送 アップロードタイムアウト
9901-410-A	Error	オーナー	ファイル転送 データ削除エラー発生
9901-500-A	Error	オーナー	ファイル転送 ダウンロードタイムアウト
9901-600-A	Error	オーナー	タスク制御 ステータスタイムアウト発生 (Waiting)
9901-600-B	Information	オーナー	タスク制御 ステータスタイムアウト解消 (Waiting)
9901-601-A	Error	オーナー	タスク制御 ステータスタイムアウト発生 (Running)
9901-601-B	Information	オーナー	タスク制御 ステータスタイムアウト解消 (Running)
9901-610-A	Error	オーナー	タスク制御 ステップ異常終了
9901-620-A	Error	オーナー	タスク制御 スケジュールエラー発生
9901-630-A	Error	オーナー	タスク制御 ポーズ発生 (同一タスク実行)
9901-631-C	Warning	オーナー	タスク制御 リトライ発生 (同一タスク実行)
9901-632-A	Error	オーナー	タスク制御 キャンセル要求発生 (同一タスク実行)
9901-640-A	Error	オーナー	タスク制御 ポーズ発生 (ポーズ設定時間)
9901-690-B	Information	オーナー	タスク制御 キャンセル完了
9901-691-A	Error	オーナー	タスク制御 キャンセル失敗
9901-900-A	Error	オーナー	Web Hook エラー発生
9901-901-C	Warning	オーナー	Web Hook エラー発生

8.1.2 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
9901-100-C	件名	【電話発信インシデント未通話】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	電話発信インシデントが通話状態とならないまま終了しました 元メッセージ情報は以下のとおりです 発生日時: %BaseTime% 通知コード: %BaseMessageCD% 件名: %BaseSubject%
	種別	Warning
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ
9901-200-A	件名	【通知メッセージ書き込み抑止】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	下記監視項目で、同一発生時刻(分)に%MaximumMessageCount%件を超えるエラーを検知したため、通知メッセージの書き込みを抑止しました 【書き込み抑止された監視項目】

		%SkipInfo%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ
9901-210-A	件名	【通知メッセージ書き込み抑止】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	下記監視項目で、同一発生時刻（分）に%MaximumMessageCount%件を超えるエラーを検知したため、通知メッセージの書き込みを抑止しました 【書き込み抑止された監視項目】 %SkipInfo%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ
9901-300-A	件名	【ハートビートエラー発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	ハートビートエラーを検知しました ノードダウン、または App Bridge Monitor Agent ダウンの可能性があります Last Heart Beat Time : %HeartBeatTime%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ
9901-300-B	件名	【ハートビートエラー回復】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	ハートビートエラーの回復を検知しました
	種別	Information
	レベル	ノード
	発生理由	エラー回復（※1）
9901-400-A	件名	【ファイル転送アップロードタイムアウト】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	ファイル転送アップロードのタイムアウトを検知しました Dataset : %DatasetCD% UploadID : %UploadID% Status : %UploadStatus% Last Beat Time : %UploadBeatTime% HostName : %HostName% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ
9901-410-A	件名	【ファイル転送データ削除エラー】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	アップロードデータの削除処理中に以下のエラーを検知しました。認証情報などを確認し、エラー状態を解消して下さい Dataset : %DatasetCD% UploadID : %UploadID% AWS Error : [%AWSErrorCode%] %AWSErrorMessage% Next Time (UTC) : %NextDataRemoveTime% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナー

	発生理由	センタメッセージ
9901-500-A	件名	【ファイル転送ダウンロードタイムアウト】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	ファイル転送ダウンロードのタイムアウトを検知しました Dataset : %DatasetCD% DownloadID : %DownloadID% Status : %DownloadStatus% Last Beat Time : %DownloadBeatTime% HostName : %HostName% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-600-A	件名	【タスク制御ステータスタイムアウト発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクステップのステータスタイムアウトを検知しました このメッセージは、設定時間を経過しても、タスクステップの開始が検知されていないことを示しています TaskCD : %TaskCD% StepCD : %StepCD% Status : %StepStatus% ScheduleTime : %ScheduleTime% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-600-B	件名	【タスク制御ステータスタイムアウト解消】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクステップのステータスタイムアウトが解消しました このメッセージは、Agent からのアクションにより、タスクステップの開始が検知されたことを示しています TaskCD : %TaskCD% StepCD : %StepCD% Status : %StepStatus% LastUpdateTime : %StepLastUpdateTime% %HyperLink%
	種別	Information
	レベル	オーナ
	発生理由	エラー回復 (※1)
9901-601-A	件名	【タスク制御ステータスタイムアウト発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクステップのステータスタイムアウトを検知しました このメッセージは、設定時間を経過しても、タスクステップの終了が検知されていないことを示しています TaskCD : %TaskCD%

		StepCD : %StepCD% Status : %StepStatus% LastUpdateTime : %StepLastUpdateTime% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ
9901-601-B	件名	【タスク制御ステータスタイムアウト解消】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクステップのステータスタイムアウトが解消しました このメッセージは、Agent からのアクションにより、タスクステップの正常終了が検知されたことを示しています TaskCD : %TaskCD% StepCD : %StepCD% Status : %StepStatus% LastUpdateTime : %StepLastUpdateTime% %HyperLink%
	種別	Information
	レベル	ノード
	発生理由	エラー回復 (※1)
9901-610-A	件名	【タスク制御ステップ異常終了】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクステップの異常終了を検知しました このメッセージは、Agent からのアクションにより、タスクステップの異常終了が検知されたことを示しています TaskCD : %TaskCD% StepCD : %StepCD% Status : %StepStatus% LastUpdateTime : %StepLastUpdateTime% Reason : %StepAbortReason% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ
9901-620-A	件名	【タスク制御スケジュールエラー発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	タスクのスケジュール処理でエラーを検知しました このメッセージは、スケジュール処理において、下記スケジュール定義がエラーとなり、当該タスク定義に対する全てのスケジューリングが中止されたことを示しています TaskCD : %TaskCD% ScheduleNames : %ScheduleNames% ScheduleDate : %ScheduleDate% ScheduleTimes : %ScheduleTargetTimes% Reason : %ScheduleErrorReason%

		%HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-630-A	件名	【タスク制御ポーズ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	同一タスクが実行中のため、タスクをポーズしました このメッセージは、同一タスク定義のタスクが実行中であったため、タスクインスタンスがタスクレベルでポーズされたことを示しています。当該タスクインスタンスを実行する場合、タスクレベルのポーズ解除を実施して下さい TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-631-C	件名	【タスク制御リトライ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	同一タスクが実行中のため、タスクをリトライしました このメッセージは、同一タスク定義のタスクが実行中であったため、タスクインスタンスがタスクレベルで一時的にポーズされたことを示しています。当該タスクインスタンスは[%TaskPauseEffectiveTime%]以降に再度実行対象になります。当該タスクインスタンスを即時実行する場合、タスクレベルのポーズ解除を実施して下さい TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% RetryTime : %TaskPauseEffectiveTime% %HyperLink%
	種別	Warning
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-632-A	A 件名	【タスク制御キャンセル要求発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	同一タスクが実行中のため、タスクをポーズし、キャンセル要求しました このメッセージは、同一タスク定義のタスクが実行中であったため、タスクインスタンスがタスクレベルでポーズされ、キャンセルが要求されたことを示しています。当該タスクインスタンスは非同期でキャンセルされます TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナ
	発生理由	センタメッセージ
9901-640-A	件名	【タスク制御ポーズ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	ポーズ設定時間を超過していたため、タスクをポーズしました

		このメッセージは、実行対象のタスクインスタンスがポーズ設定時間を超過していたため、タスクレベルでポーズされたことを示しています。当該タスクインスタンスを実行する場合、タスクレベルのポーズ解除を実施して下さい TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ
9901-690-B	件名	【タスク制御キャンセル完了】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	要求されたタスクキャンセルが完了しました このメッセージは、要求されたタスクキャンセルが完了したことを示しています。キャンセルされたタスクインスタンスを再実行する場合、ステップインスタンスにリトライを指示して下さい TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% %HyperLink%
	種別	Information
	レベル	オーナー
9901-691-A	件名	【タスク制御キャンセル失敗】 %MessageCD% %OwnerCD% %TaskCD%
	本文	要求されたタスクキャンセルに失敗しました このメッセージは、タスクインスタンスのステータスが変化したため、要求されたタスクキャンセルが失敗したことを示しています。タスクインスタンスの実行状況を確認して下さい TaskCD : %TaskCD% Status : %TaskStatus% %HyperLink%
	種別	Error
	レベル	オーナー
9901-900-A	件名	【WebHook API Call Failed】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	The following WebHook API call failed. This setting has been disabled. 以下の WebHook API 呼び出しが失敗しました。この設定は無効になりました OwnerCD : %OwnerCD% MailNotificationCD : %MailNotificationCD% WebHookAddr : %WebHookAddr% APIMessage : %APIMessage%
	種別	Error
	レベル	オーナー
9901-901-C	件名	【WebHook API Call Failed】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	The following WebHook API call failed. WebHook will be retried.

		以下の WebHook API 呼び出しが失敗しました。WebHook はリトライされます OwnerCD : %OwnerCD% MailNotificationCD : %MailNotificationCD% WebHookAddr : %WebHookAddr% APIMessage : %APIMessage%
	種別	Warning
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ

※1：通知振分条件のメッセージの種類と発生理由「すべてのエラーメッセージと回復メッセージ」に該当します

8.1.3 代替文字

代替文字列	内容	備考
%APIMessage%	連携 API のメッセージ	
%AWSErrorCode%	AWS のエラーコード	
%AWSErrorMessage%	AWS のエラーメッセージ	
%BaseMessageCD%	発生源となった通知メッセージの通知コード	
%BaseSubject%	発生源となった通知メッセージの件名	
%BaseTime%	発生源となった通知メッセージの事象発生日時	
%DatasetCD%	データセットコード	
%DownloadBeatTime%	ダウンロードの最終アクセス日時	
%DownloadID%	ダウンロードを示す一意な ID	
%DownloadStatus%	ダウンロードステータス	
%HeartBeatTime%	ハートビート発生時刻（ローカル時間）	
%HyperLink%	関連 Web 画面へのリンク	
%MaximumMessageCount%	抑止メッセージ件数	
%NotificationCD%	標準通知先コード	
%ScheduleErrorReason%	スケジュールエラー理由	
%ScheduleNames%	スケジュール名	
%ScheduleTargetDate%	スケジュール対象日	
%ScheduleTargetTimes%	スケジュール対象時刻	
%ScheduleTime%	スケジュール日時	
%SkipInfo%	書き込み抑止された監視項目情報 OwnerCD: オーナコード NodeCD: ノードコード（※1） InstanceName: インスタンス名（※1）（※2） OccurredTime: 発生時刻 MonitorType: 監視項目	※1: ノードレベルデータの場合のみ行を表示 ※2: スケーリングされている場合のみ行を表示
%StepAbortReason%	ステップ異常終了理由	
%StepCD%	ステップコード	
%StepLastUpdateTime%	ステップ更新日時	
%StepStatus%	ステップステータス	
%TaskCD%	タスクコード	
%TaskPauseEffectiveTime%	タスクポーズ解除日時	
%TaskStatus%	タスクステータス	
%UploadBeatTime%	アップロードの最終アクセス日時	
%UploadID%	アップロードを示す一意な ID	
%UploadStatus%	アップロードステータス	

8.2 センタメッセージ（下位互換）

センタメッセージを、Ver. 1.11 以前の様式としたい場合、センタメッセージバージョンを「下位互換（Ver. 1.11 互換）」とします。センタメッセージバージョンはオーナー基本設定で確認、変更が可能です。

8.2.1 下位互換されるセンタメッセージ

下位互換されるセンタメッセージは以下のとおりです。他のセンタメッセージは、最新と同様の様式となります。

通知コード	種別	レベル	内容	上位での通知コード
0110-010-A	Error	ノード	通知メッセージ書き込み抑止	9901-200-A
0110-020-A	Error	オーナー	通知メッセージ書き込み抑止	9901-210-A
0110-010-A	Error	ノード	ハートビートエラー発生	9901-300-A
0110-050-D	Information	ノード	ハートビートエラー回復（※1）	9901-300-B

※1：下位互換のハートビートエラー回復（0110-050-D）は[通知振分条件/メッセージの種類と発生理由]の「すべてのエラーメッセージと回復メッセージ」に該当しません。ハートビートエラー回復（0110-050-D）を通知対象としたい場合は、個別に通知振分条件を設定するか、センタメッセージバージョンを最新バージョンに変更して下さい

8.2.2 メッセージフォーマット

通知コード	区分	値
0110-010-A	件名	【エラーメッセージ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のエラーメッセージが発生しました 発生日時：%GenerateTime% ノード名：%NodeCD% メッセージ： 下記監視項目で、同一発生時刻（分）に%MaximumMessageCount%件を超えるエラーを検知したため、通知メッセージの書き込みを抑止しました 【書き込み抑止された監視項目】 %SkipInfo%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ
0110-020-A	件名	【エラーメッセージ発生】 %MessageCD% %OwnerCD%
	本文	以下のエラーメッセージが発生しました 発生日時：%GenerateTime% メッセージ： 下記監視項目で、同一発生時刻（分）に%MaximumMessageCount%件を超えるエラーを検知したため、通知メッセージの書き込みを抑止しました 【書き込み抑止された監視項目】 %SkipInfo%
	種別	Error
	レベル	オーナー
	発生理由	センタメッセージ

0110-010-A	件名	【エラーメッセージ発生】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下のエラーメッセージが発生しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% メッセージ : ハートビートエラーを検知しました ノードダウン、または App Bridge Monitor Agent ダウンの可能性があります Last Heart Beat Time (UTC) : %HeartBeatTime%
	種別	Error
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ
0110-050-D	件名	【情報メッセージ検知】 %MessageCD% %OwnerCD% %NodeCD%
	本文	以下の情報メッセージを検知しました 発生日時 : %GenerateTime% ノード名 : %NodeCD% メッセージ : ハートビートエラーの回復を検知しました
	種別	Information
	レベル	ノード
	発生理由	センタメッセージ